

## 令和5年度乳がん集団検診

健康づくり推進課  
☎960-1100



申し込み方法が電子申請のみとなります。操作方法については、市ホームページをご覧ください。



### 日程・会場

日程	会場
5月11日(木)・12日(金)	蒲生地区センター
5月14日(日)	保健センター
5月18日(木)	荻島地区センター
5月19日(金)・21日(日)	保健センター
5月22日(月)・23日(火)	桜井地区センター
5月25日(木)	南越谷地区センター
5月28日(日)・29日(月)	保健センター

### 受付時間

▶月曜～金曜日：9:00～11:45・13:00～13:15  
(午前に申し込みをした場合、視触診検査とマンモグラフィ検査が午前と午後に分かれます。必ず両方ご受診ください)

▶日曜日：8:15～11:15

### 内容

医師による視触診検査、マンモグラフィ検査

### 対象

35歳以上の女性(平成元年3月31日以前に生まれた方)で、奇数月生まれ、または令和4年度に未受診の方。妊娠中などの理由で検診を受けられない方がいます。しこりや乳頭分泌などの症状がある方は、医療機関(外科)をご受診ください

### 費用

1,500円。条件により無料の方がいます

### 申込み

3月8日(水)～22日(水)に電子申請で申し込み。申し込みは1人1回まで。申し込み前に、市ホームページから注意事項をご確認ください



- \*受診時に介助が必要な方は、申し込み前に健康づくり推進課へご相談ください
- \*都合が悪くなった場合の変更はできません
- \*検診を受ける時期は、月経開始1週間後くらいが最適です。月経前2週間は避けてください
- \*6月～8月には、医療機関で乳がん施設検診を実施しますので、集団検診か施設検診のいずれかをご受診ください
- \*詳しくは、市ホームページまたは4月に発行するこしがや保健ガイドをご覧ください

## 新型コロナウイルスワクチン接種は3月31日(金)まで

新型コロナウイルスワクチン接種コールセンター  
☎0120-701-333

### オミクロン株対応ワクチンについて

#### ■対象

初回接種(1・2回目接種)を完了し、前回接種から3カ月以上経過した方

#### ■接種するワクチン

BA.1対応型またはBA.4/5対応型のいずれか1回のみ

\* 国からの供給状況等の事情により、今後市内医療機関で使用するワクチンをBA.4/5対応型からBA.1対応型に切り替える場合があります



### 乳幼児(6カ月～4歳)・小児(5歳～11歳)のワクチン接種

1人3回接種することが原則になりますが、すべての接種が完了してなくても、一定の効果が期待できると言われています。3月31日までにすべての接種の完了が見込めない場合でも、可能な範囲で接種をご検討ください。

#### 予約方法

●電話(コールセンター) ☎0120-701-333(フリーダイヤル)

\*おかけ間違いにご注意ください

月曜～金曜日：10:00～19:00 土曜・日曜日、祝日：9:00～17:00

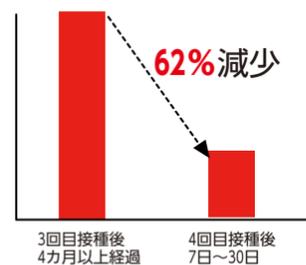
●インターネット(予約サイト)

<https://vaccines.sciseed.jp/koshigaya/login>



第8波 死者数過去最多  
ワクチン接種はお早めに!

4回目接種後の重症化予防効果  
60歳以上の重症化の発生率  
(ファイザー社ワクチンを接種した場合)



出典：厚生労働省(海外の研究報告)

## 健康情報コラム

### 薬剤師はアスリートもサポートしています

越谷市薬剤師会 副会長  
さいとう かずや  
(有)サイトウ薬局 齋藤 和也



昨年のサッカーワールドカップでの日本代表の戦いに元気をいただき、スポーツの持つ力を感じた方も多かったと思います。その舞台裏では900件を超えるドーピング検査が行われたそうです。

選手は、勝つために、自分を鍛え、大会で最高のパフォーマンスを発揮できるよう、日々、厳しい練習をしています。中には勝利だけを求め、禁止薬物使用等の不正を行う「ドーピング」という行為をする選手がいます。この行為はフェアプレーの精神に反し、全世界、スポーツ界全体で禁止されています。この行為を禁止するアンチ・ドーピング

活動は、ドーピングを無くし、公正で公平なスポーツに参加する選手の権利を守り、スポーツの価値を守るための活動です。

その規則は、毎年1回見直しをされ、その中には、居場所情報も提供し、選手自身が事前通告なしのドーピング検査に応じクリーンであることも証明しなければいけない規則もあるのです。日本代表になるのは、努力だけでなくさまざまな規則に従わなければならない本気で大変なことです。その尊敬すべき選手を意図的ではないうっかりドーピング(治療等に使用した薬に禁止物質が入っていた等)から守ることを薬剤師もできるのです(公認

を受けたドーピング専門薬剤師をスポーツファーマシストと呼びます)。選手だけでなくその関係者、ご家族にもドーピングについて知っていただき、頑張っている選手の努力が「知らなかった」ということでむだにならないようにしたいのです。

薬剤師は薬を用いた治療に関わるだけでなく、予防と養生やアンチ・ドーピング活動を通じて病気になった方だけではなく、元気な方々も守るお手伝いができます。病気の有無にかかわらず、ぜひ「かかりつけの薬剤師・薬局」を持ち、健康でいるためのサポーターにしていいただければ幸いです。